

第8回 消費者部会

2021年3月23日(火) 14:00~16:30

株式会社ゼンショーホールディングス 会議室 ※WEB会議システムを併用しての開催

第8回となる消費者部会が開催され、重点課題を中心に活発な意見交換がなされました。

Check Point

消費者部会とは

消費者団体及びその他消費生活関連団体を構成員として、生団連の重点課題などについて生活者・消費者目線での意見集約を行う会です。

消費者部会での議論と、生団連全体への情報展開や意見の共有、外部への発信・提言を通じて、「国民の生活・生命を守る」という生団連の理念遂行を目指しています。



▲リモート参加の様子

【議事内容】(意見一部抜粋)

■議題1…最重点課題 活動方針

新型コロナウイルス感染拡大防止と医療提供体制の改善
～緊急事態下の法制度とオペレーションの見直し～

- 国産ワクチン開発は国のバックアップが不足しているために遅れている。コロナ禍が終息してもワクチン開発に対して注力してもらいたいというのが国民一般の感覚ではないか。
- 「正確な情報の収集と正確な情報の発信」が最も重要である。異なる大臣から様々な発信がされており、本当に大事なことが何かわからないため、情報の集約・発信は一元化されるべきである。



▲一般社団法人消費者市民社会をつくる会 阿南 久 代表理事 (消費者部会長)

■議題2…重点課題2021年度 活動方針

①「国家財政の見える化」の実現に向けて

- 国の予算案がきちんと国民のためにできているのか、国民が知るべき内容をわかりやすく伝えてほしい。
- コロナ対策でかなり予算を投入しているが政府には具体的な振り返りを行ってほしい。

②「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築に向けて

- 無国籍・無戸籍・住民登録をしていない人たちも含め、生活者として健康を保持することが重要。生団連が「生活者としての健康支援」という視点を入れるべきだと思う。

③「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

- 営農型太陽光発電のメリットとして農業の活性化がある。デメリットもあるがメリット面も研究していただきたい。
- 原子力は安全という教育が平然と行われている。そうした教育はやめさせるべきではないかと思う。
- 太陽光パネルの廃棄問題やマイクロプラスチックの問題等、エネルギー問題は全体を俯瞰して取り組む必要がある。

④「生団連 災害支援スキーム」の構築に向けて

- 困窮者支援については恒常的に対応できるような地域に根差したネットワークの構築に努めてほしい。
- 全国的に広がっている子ども食堂は地域の状況をよく知っており、そのようなネットワークを持っている団体と連携をとることは良いことだと思う。

■議題3…研究課題 進捗報告

①ジェンダー主流化委員会

- 学校教育・生涯教育・企業研修を通じて「気付き、学習すること」、そして女性をはじめとした社会的脆弱な立場の方がエンパワメントをしていくことが必要である。
- 理論だけではなく行動を連携していくことが重要。女性だけではなく、男性や事業主を巻き込んだ取り組みを進めていきたい。
- 各地での取り組みや行動をネットワークしていくのが、この委員会の役割なのではないか。

②プラスチック問題研究会

- プラスチック工業連盟に現場実態についてヒアリングしてみてもどうか。

■議題4…「地域生団連」進捗報告及び今後の展望について

■議題5…事務局発議「家電リサイクル法の見直し」

- リサイクルの権利を製造業だけではなく小売業にも与えることで、国民にとってどのような利益があるのか明確にしてほしい。
- 回収した家電製品がどう処理されているのか、国民に見えるようにしてほしい。

【出席者からのご意見(一部抜粋)】

- エンカ消費とデジタル社会に対応するための消費者教育の推進について生団連でも議論・検討を進めていただきたい。
- 地域生団連発足に向けて、災害に関しては市町村も巻き込んでいく必要があると思う。



▲埼玉県地域婦人会連合会 柿沼会長



▲NPO法人まちごらぼ 牛田事務局長



▲NPO法人関東シニアライフアドバイザー協会 佐藤専務理事